

| 項目    | 審査会当日意見<br>(※Pは方法書のページ番号)   | 文書意見 | 事業者回答<br>(※Pは添付資料ページ番号)   |
|-------|---|------|---|
| 全般的事項 | 事業実施想定区域は、宮城県の「風力発電導入に係る県全域ゾーニングマップ」における保護優先・地形障害エリアに該当し、かつほぼ全てが水源かん養保安林という水源として非常に重要な場所である。環境影響を回避又は低減するための方法を十分に検討すること。【平野会長】P.14, P.23 |      | 宮城県の「風力発電導入に係る県全域ゾーニングマップ」における保護優先・地形障害エリア及び水源かん養保安林については、必要に応じて関係機関と協議を実施し、極力変更を避けるよう事業計画を検討します。                   |
| 地形・地質 | 黒森山の風穴について、「日本の風穴」等の文献調査及び現地調査を行った上で、風穴現象を生じさせる地形及びその周辺を想定区域から除外すること。【伊藤委員】<br>萬歳楽山を重要な地形として選定するとともに、萬歳楽山及びその周辺を変更しないこと。【伊藤委員】P.109       |      | 今後の現地調査において風穴現象を生じさせる地形が確認された場合は、その分布状況等の把握に努め、当該地形及びその周辺を極力変更しないよう事業計画を検討します。                                      |
|       | 砂防指定地及びその上流域並びに地すべり地については、変更を避けること。地すべり地については、地震ハザードステーションサイト等でその分布を把握すること。【伊藤委員】P.189-P.196  |      | 方法書段階では萬歳楽山を重要な地形として選定したうえで、萬歳楽山及びその周辺を極力変更しないよう事業計画を検討します。   |
|       | 管理用の道路、工事が地形及び地質へ大きく影響を与える可能性があるため、それらを踏まえた敷設、拡幅等の計画とすること。【平野会長】  |      | 砂防指定地及びその上流域並びに地すべり地については、既存資料等を基にその分布を把握したうえで、極力変更を避けるよう事業計画を検討します。  |
|       | 最新の土砂災害警戒区域等の指定状況を反映させること。【伊藤委員】P.196   |      | 管理用の道路、工事に伴う工事については、重要な地形及び地質への影響に配慮した敷設、拡幅等の計画を検討します。  |
| 動物    | 専門家等のヒアリングを実施し、適切な調査手法を設定した上で、適切に影響を予測及び評価すること。【太田委員】P.222  |      | 方法書以降の手続きにおいても、引き続き専門家等へのヒアリングを実施し、適切な調査手法を設定した上で、影響を予測及び評価します。   |
| 植物    | 黒森山の風穴には希少な植物が存在するため、白石市で実施した黒森山の風穴の調査書を確認し、風穴の場所を特定した上で、その区域を想定区域から除外すること。【牧委員、平野会長、野口委員】  |      | 送電線の敷設経路については、小坂峠を極力回避します。万が一回避することが困難な場合は、地下埋設することで小鳥の渡りルート確保を確保するよう検討します。また、半田山に生息するコウモリの調査を実施したうえで、影響を予測及び評価します。 |
|       |   |      | 今後の現地調査においては、既存資料等を基に風穴の場所を特定したうえで、その周囲における植物の重要な種の生育状況の把握に努めます。また、風穴の分布状況及び植物の重要な種の生育状況を踏まえ、極力変更を避けるよう事業計画を検討します。  |

| 項目                      | 審査意見<br>(※Pは方法書のページ番号)   | 文書意見 | 事業者回答<br>(※Pは添付資料ページ番号)   |
|-------------------------|--|------|---|
|                         | 事業実施想定区域外に存在する植生について直接変化による影響がないとされているが、土砂流出等による影響も強く懸念されるため、そのことを踏まえ調査、予測及び評価すること。<br>【野口委員】(※参考人作成当日説明資料) P. 26  |      | 今後の現地調査の結果を踏まえ、土砂流出等による植物への影響について予測及び評価を実施します。  |
| 景観                      | 黒森山を直接変化の対象にせず、風穴の背景に風車が入り込まないようにすること。また、視点場に黒森山を追加すること。<br>【平野会長】<br>誘目性を持つ風力発電機を送電鉄塔の基準で景観への影響を評価すると、過小評価となることを前提とし、垂直視野角1°を以て影響の有無を判断しないこと。<br>【平野会長】<br>萬歳稲荷神社及びその経路となる参道を含め視点場を設定し、影響を回避できるような車の配置を検討すること。<br>【平野会長】 P. 257 |      | 事業計画の検討に当たっては、黒森山を直接変化しないよう努めます。<br>また、黒森山を眺望点に追加し、風穴の背景に風力発電機が視認されないよう配置計画を検討します。<br>方法書段階では誘目性を持つ風力発電機による景観への影響について、垂直視野角1°を以て影響の有無を判断せず、適切に調査、予測及び評価できる手法を検討します。<br>配置計画の検討に当たっては、萬歳稲荷神社及びその経路となる参道を眺望点として設定し、調査、予測及び評価を実施したうえで、風力発電機による影響を極力回避するよう努めます。 |
| 人と自然との<br>触れ合いの活<br>動の場 | 萬歳薬山付近にあるハイキングコースそのものを人と自然との触れ合いの活動の場として評価に加えること。<br>【野口委員】  |      | 方法書段階では萬歳薬山付近に存在するハイキングコースを人と自然との触れ合いの活動の場に係る調査、予測及び評価の地点として選定します。  |
| 放射線の量                   | 事業実施想定区域の近隣市町における公共用水域放射性物質モニタリングの結果、放射能濃度が高い事が判明している。放射能の影響を「回避又は低減することが可能である」と図書に記載する根拠を明確にした上で、適切に調査、予測及び評価すること。<br>【石井委員】 P. 119, P. 209   |      | 現地調査において放射性物質濃度の測定を行ったうえで、その結果に応じて残土や濁水の処理を適切に行う等、工事中の環境保全措置を講じること、放射線物質の飛散・流出による影響を回避又は低減することが可能であると考えております。また、方法書以降では、環境影響評価の項目として放射線の量を選定し、調査、予測及び評価を行います。   |
|                         | 放射性物質濃度の調査は風力発電機1基あたりに表層土壌厚さ1cm、4か所程度測定すること。なお、道路については20m毎に1点程度調査すること。<br>【石井委員】   |      | ご助言を踏まえ、放射線の量に係る調査地点等について方法書段階では適切に調査計画を検討します。  |